

株式会社カーチスホールディングス (東証2部 7602)
2020年3月期 第2四半期短信説明資料

2019年11月6日



ご注意: 当資料に記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

目 次

- 【1】 2020年3月期 第2四半期決算の状況
 - ①国内中古車市場動向(2019年4月～9月)
 - ②前年同期業績比較(連結)
 - ③連結貸借対照表の前期末比較
 - ④連結損益計算書の前年同期比較
 - ⑤連結キャッシュ・フロー計算書の前年同期比較

- 【2】 当第2四半期における営業展開の状況
 - ①国内における営業展開の状況
 - ②海外向け事業展開

- 【3】 2020年3月期の業績見通し
 - ①業績計画の達成に向けて
 - ②業績計画について



【1】 2020年3月期 第2四半期決算の状況



【1】2020年3月期 第2四半期決算の状況

①国内中古車市場の動向(2019年4月～9月)

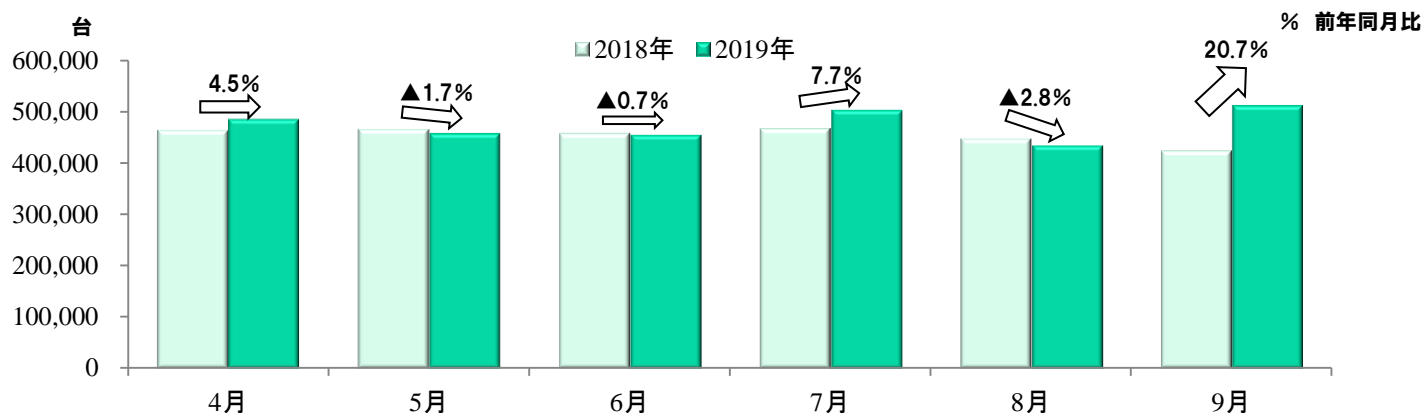
●中古車登録台数 **2,851,144台** (前年同期比:4.4%増加)

(乗用のみ、貨物・バス等除く)

※ 前年同期 **2,729,812台**

(乗用のみ、貨物・バス等除く)

(出典:一般社団法人日本自動車販売協会連合会、一般社団法人全国軽自動車協会連合会)



補足説明

国内の中古車登録台数は4月～8月までは前年対比101%で推移していましたが、9月において単月では7年2ヶ月ぶりの2桁増となり、前年同月対比20.7%増加となりました。消費増税前の駆け込み需要などの影響や、昨年9月は自然災害などの影響により前年同月対比7.1%減少と前年登録台数が少なかったこと等の影響によるものと思われます。



【1】2020年3月期 第2四半期決算の状況

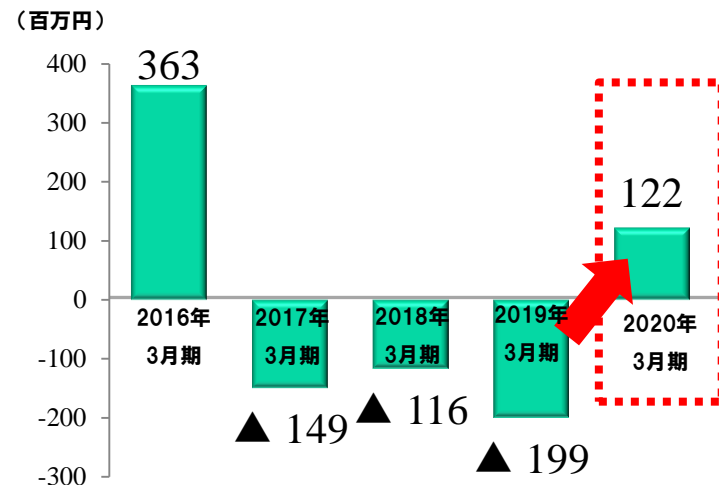
②前年同期業績比較(連結)

■当第2四半期と前年同期業績比較

(単位:百万円)

	前期 2018年4月～9月	当期 2019年4月～9月	増減
売上高	10,486	8,835	▲1,651
営業利益	▲199	122	+322
経常利益	▲182	125	+308
親会社株主に帰属 する四半期純利益	▲238	100	+338
売上総利益率	20.0%	21.0%	+1.0%

■第2四半期連結累計期間営業利益推移



補足説明

当第2四半期においては、期初より『顧客ファースト』を掲げ、「買取直販」の拡大による良質車両の仕入強化など、量より質を重視した営業施策に取り組んできたことにより、1台当たりの売上単価が向上し、売上高は当初予想を上回りました。

また、広告費などの見直しによる費用対効果を重視した経費削減等により、営業利益が前年同期比322百万円増加し、第2四半期営業利益が4期振りのプラスとなりました。



【1】2020年3月期 第2四半期決算の状況

③連結貸借対照表の前期末比較

(単位:百万円)

	2019年3月期末	2020年3月期 第2四半期末	前期末比 比率
流動資産	5,647	5,771	102.2%
固定資産	1,478	1,467	99.2%
総資産	7,126	7,239	101.6%
流動負債	1,408	1,363	96.8%
固定負債	393	332	84.4%
純資産	5,324	5,543	104.1%
負債・純資産合計	7,126	7,239	101.6%

補足説明

- 自己資本率は74.5%と前期末の値(72.5%)より2.0%改善いたしました。
- 流動比率は423.2%と前期末の値(400.9%)より22.3%改善いたしました。
さらに強固な財務体質へと改善しております。



【1】2020年3月期 第2四半期決算の状況

④連結損益計算書の前年同期比較

(単位:百万円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	前年同期増減
売上高	10,486	8,835	▲1,651
売上原価	8,390	6,980	▲1,409
売上総利益	2,095	1,854	▲241
販売管理費	2,295	1,732	▲563
営業利益	▲199	122	+322
経常利益	▲182	125	+308
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲238	100	+338

補足説明

- 売上高: 売上減少の主要因は、脱オートオークションのもと、顧客ファーストを掲げ、良質車両仕入に特化し買取直販の営業施策に取り組んできたことにより、利益率の高い顧客向け売上高の構成比が大幅にアップしたことによるもので、オークション売上が減少。
- 売上総利益: 売上総利益率は21.0%と前年同期比1.0%改善致しました。
- 販売管理費: 費用対効果を重視した経費削減の成果により、前年同期比では、広告費161百万円等の削減により計563百万円の経費削減となりました。



【1】2020年3月期 第2四半期決算の状況

⑤連結キャッシュ・フロー計算書の前年同期比較

(単位:百万円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	368	992
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲36	▲19
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲128	82
現金及び現金同等物の期末残高	2,583	3,203

補足説明

- 営業CFは、税金等調整前四半期純利益は119百万円を計上し、売上債権の減少42百万円、たな卸資産の減少947百万円などの要因により、結果として992百万円の収入となりました。
- 投資CFは、無形固定資産の取得による支出13百万円、資産除去債務の履行による支出3百万円などの要因により、結果として19百万円の支出となりました。
- 財務CFは自己株式の処分による収入199百万円、配当金の支払額66百万円などの要因により、結果として82百万円の収入となりました。



【2】 当第2四半期における営業展開の状況



【2】 当第2四半期における営業展開の状況

① 国内における営業展開の状況

1. 地域グループ営業体制へと変更、良質車両供給強化

- 「買取直販」の拡大に向け、大型販売店を中核とし、周辺の買取店による良質車両の供給、ならびに物流コスト削減のため営業体制を変更しました。
- 「良質車両」は、仕入れから販売、更にアフターメンテナンスに至る商流を一貫したプロセス管理手法に改善し、良質車両の仕入強化を徹底しました。

2. 業販拡大施策実施

- 会員同士の関係強化の為、2019年4月に「カーチス倶楽部会員様の集い」という交流会を実施しました。
- 営業手法を見直し、会員様との接触頻度を高め、コミュニケーション強化を図りました。

3. 顧客ニーズへの対応強化

- 「顧客ファースト」の方針のもと多様化するお客様のニーズに応えるよう、サービスの見直し、新たなサービスの導入を実施しました。
- 修理保証範囲が幅広くなり、アフターサポートを強化した、保証サービスの見直し、また、室内洗淨サービス、カーエアコン洗淨等を新たに導入いたしました。
- レンタカー車両の増強をしました。



【2】当第2四半期における営業展開の状況

② 海外向け事業展開

1. 新華錦集団との事業推進

①2019年4月25日、山東新華錦国際株式会社と資本業務提携を致しました。

②2019年5月15日、山東新華錦国際株式会社の100%子会社に自己株式を割り当て、約2億円の資金を調達いたしました。

今後は、中古車全世界へ供給するための物流システムの構築や輸出サイトシステムの増強、合併会社設立を進めてまいります。



2. 国内有力海外輸出企業との提携

既に海外におけるサポート体制が整っている、国内有力大手海外輸出企業大手複数社と業務提携をし、海外輸出を強化してまいりました。今後も、国内有力大手海外輸出企業との連携を強化してまいります。



【3】 2020年3月期の業績見通し



【3】2020年3月期の業績見通し

①業績計画の達成に向けて

計画達成の為の施策

上期に引き続き下記の施策に注力してまいります。

I. 営業力の強化

- ①顧客ファーストの徹底
- ②AI査定システムの導入
- ③新サービス導入

II. 良質車両買取仕入れ強化

III. 輸出拡大

- ①中国中古車の新規取扱いに向けた体制の構築
- ②国内有力大手海外輸出業者との業務提携
- ③PicknBuy24.comグローバルサイトのリニューアル



【2】2020年3月期の業績見通し

②業績計画について(2019年5月15日公表済)

売上高 18,000百万円

※ 前年同期 20,525百万円(前年同期比:12.3%減)

営業利益 120百万円

※ 前年同期 △159百万円(前年同期比:279百万円増加)

経常利益 130百万円

※ 前年同期 △137百万円(前年同期比:267百万円増加)

補足説明

期初より『顧客ファースト』を掲げ、買取直販による良質車両の仕入強化など、量より質を重視した営業施策に取り組んだ結果を踏まえ、引き続き量より質を重視した営業施策を行ってまいります。

海外輸出戦略においては、新華錦集団グループとの事業推進において、合併会社の設立、海外輸出企業との業販強化を行い、業績を達成してまいります。

※上半期は業績上方修正を致しましたが、通期業績見通しの変更はございません。



将来の見通しについて

本資料は、投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

本資料には、当社グループの計画・戦略・業績等の将来予想に関する情報が掲載されており、これらの記載は、現在入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、リスク及び不確実な要素が含まれています。

当社の業績は、経済情勢、事業環境、為替動向等により、将来予想とは大きく異なる可能性があります。

当社は、本資料の利用、またはこれに付随して生じたいかなる損害についても、一切責任を負うものではありませんのでご了承下さい。